

# R5年度の主な取り組み（環境・水循環課）



資料4

大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

## 基本目標 1 自然との共生社会

- ・自然ふれあい探検隊事業

## 基本目標 2 低炭素社会の実現

- ・ゼロカーボン推進事業（ECO落語等、親子エネ教室、エコドライブ）
- ・公共施設の脱炭素化（卒FIT電源導入）
- ・省エネ診断料補助
- ・脱炭素ビジョンの推進（推進会議・シンポジウム・説明会）

## 基本目標 3 資源循環型社会の構築

- ・プラスチックごみの分別
- ・フードドライブの実施

## 基本目標 4 快適な生活環境の保全

- ・河川水の水質検査の継続実施

## ◆自然ふれあい探検隊事業 【R3～】

- 【対象】 主に小学生とその家族
- 【内容】 身近な森や川を環境学習のフィールドとした体験型環境学習  
 持続可能な社会の担い手となる子どもたちに、水循環の大切さを伝えるとともに、水や自然への愛着と誇りの定着化を図る。流域マネジメントの観点から、関係機関や組織と連携して実施
- 【実施回数】 年4回程度（春夏秋）
- 【基本方針】
  - ・ 絶えず循環している水を体感しながら、水の成り立ちや水循環の大切さについて学ぶ機会を提供
  - ・ 持続可能な社会の担い手となる子どもたちに、水循環の大切さ、水や自然への愛着と誇りを醸成
  - ・ 流域マネジメントの観点から、関係機関や組織と連携

R4実績	場所・内容	参加者数（人）
6/19	真名川の生き物と水質（真名川水辺の楽校）	児童20・保護者17
8/1	水生生物調査と川遊び（中島公園）※	児童18・保護者1
9/18	木瓜川の生き物と水質調査（木瓜川）	児童15・保護者16
10/8	植樹体験会（南六呂師）	児童11・保護者9

※国交省（九頭竜ダム統管）との連携事業（3年ぶり）



昨年喝水した川の生き物は今どうなっている？

### 《令和5年度》

R4と同様の取り組みを実施予定  
 水生生物調査・水質調査・川遊び・森づくり体験 など



# ◆ゼロカーボン推進事業（普及啓発） 【R3~】

楽しい！  
おもしろい！



エコ



行動変容

## ①笑って学ぶ！Eco落語（R3~）

環境をテーマにした創作落語を通じて、楽しく、環境問題について考える



【対象】中学生  
【R4実績】5中学校 207人

## ②楽しく学ぶ！Eco紙芝居（R3~）

環境をテーマにした紙芝居を通じて、楽しく、環境問題について学ぶ。振り返り学習も実施。



【対象】小学生・未就学児  
【R4実績】公民館等 95人

## ③遊んで学ぶ！Eco遊園地（R3~）

人力発電で動く乗り物、エコドライブシミュレータを設置、来場者にアンケート&パネル展示で地球温暖化等を学ぶ。



【対象】市民全般（子育て層）  
【R4実績】11/5-6 Vio 482人

## ④親子エネルギー体験教室（R4~）

ソーラーUFOなど、太陽光パネルや燃料電池を使った工作教室。振り返り学習も実施。



【対象】小学生と保護者  
【R4実績】2回 27組61人

## ⑤出張エコドライブ体験（R4~）

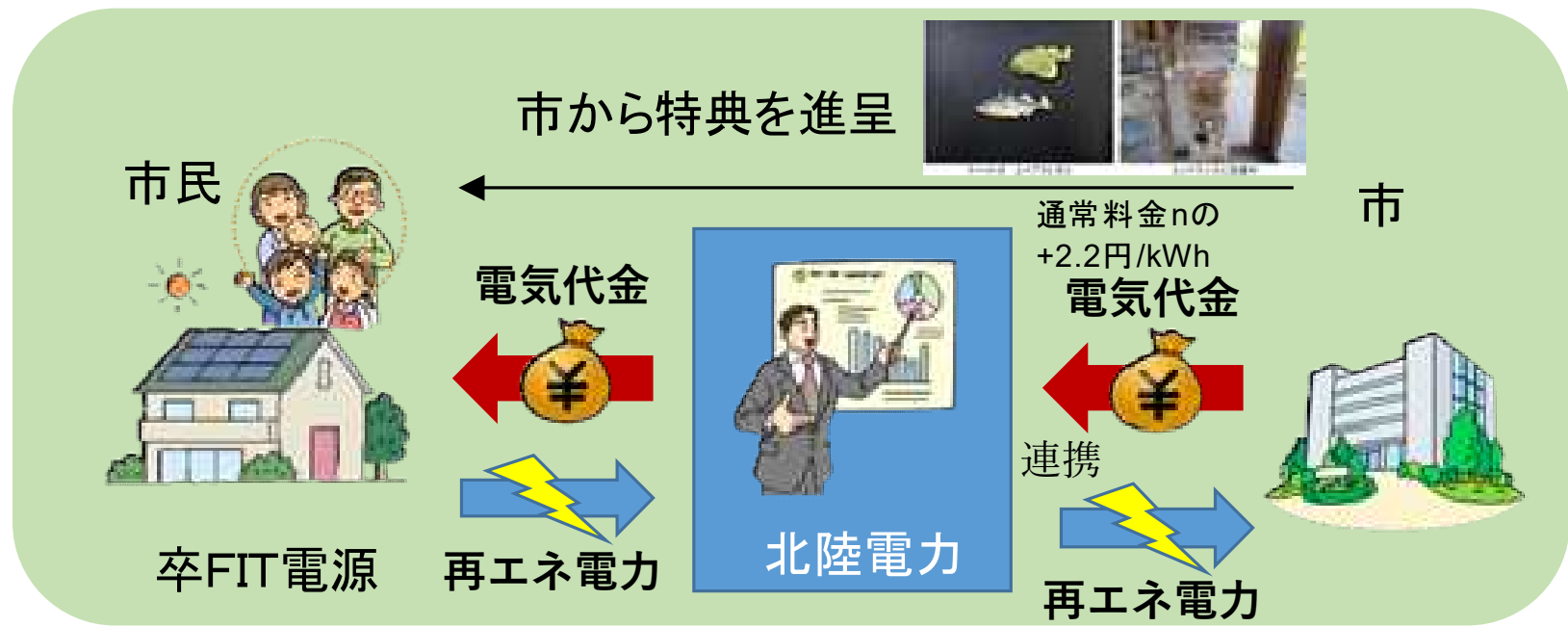
公民館等市民対象イベントに出張し、シミュレーターを用いて、エコドライブを体験



【対象】市民全般  
【R4実績】3日 71人

# ◆卒FIT電源導入事業 【(新) R5~】

北陸電力が市民から買い取った市内卒FIT電源（主に家庭用ソーラー）を、市公共施設にて使用



## 《充当予定の公共施設》



+ 観光  
イメージアップ

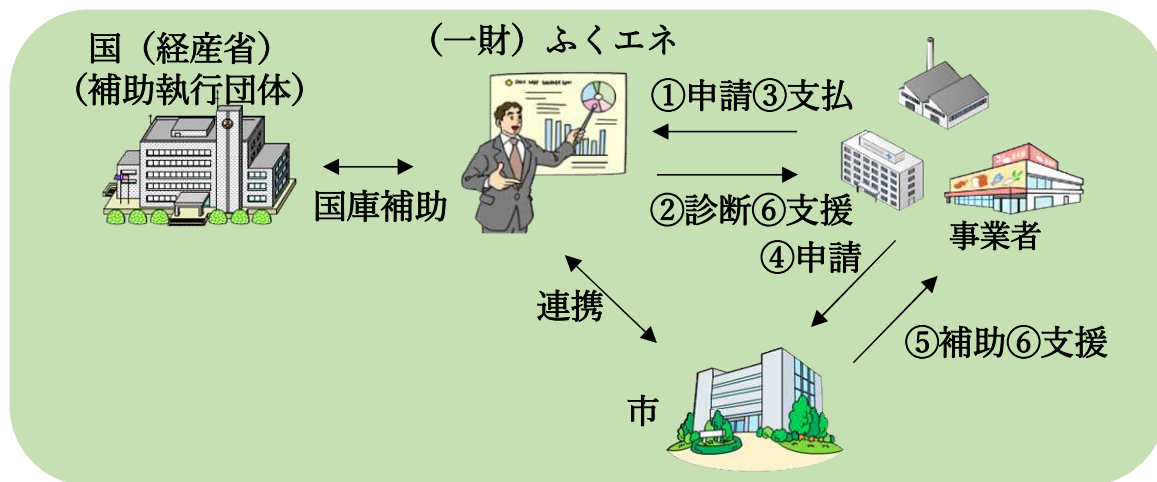


+ 環境教育

# 民間施設の脱炭素化

## ◆省エネ診断料補助事業 【R4～】 【R4実績】1件 社会福祉施設

市内事業者の省エネ診断受診を促進し、高効率設備の更新など行動変容を促すとともに、事業者のエネルギー使用量や設備の状況、省エネ対策などの実態把握につなげる



### 省エネ相談・省エネ診断の要件

省エネ相談は、特に企業の要件を設けていませんので、お気軽にご相談ください。  
 省エネ診断は、福井県内の中小企業等を対象としています。詳しくは協会までご確認ください。  
 なるべく早めのお申込みをお願いします（補助事業の期間が1月未までのため）。

### 省エネ診断の流れ

下記のとおり、専門家を派遣して、省エネ診断の実施、診断後の取組みへのアドバイスや提案をいたします。



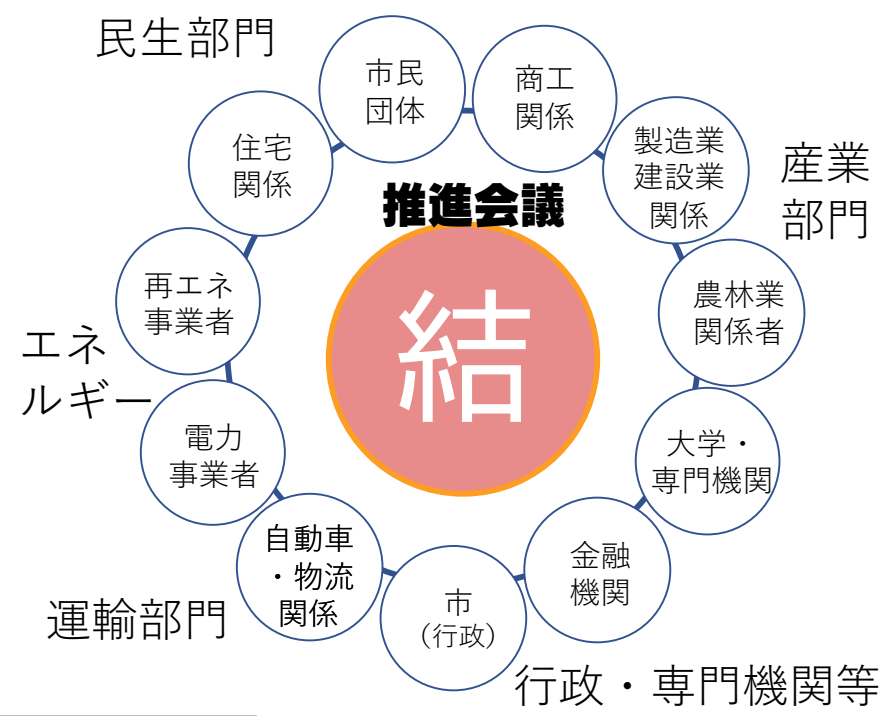
- 対象** 市内事業者（事業規模の大きい事業所・スーパー、社会福祉、製造業工場など）
- 概要** 経済産業省「地域プラットフォーム構築事業」を活用して実施する省エネ診断事業に係る事業者負担額を補助する。
- 実施回数** 3件程度（省エネ診断実施団体が実施できる上限）
- 事業内容**
- ・省エネ診断を受けた事業者に対し、事業者負担額の全額を補助する。
  - ・事業者からの補助金申請書類に、省エネ診断結果の添付を求め、エネルギー消費量などの実態把握を図る。
  - ・省エネ診断実施団体（（一社）ふくいエネルギーマネジメント協会と連携し、省エネ診断結果に基づく省エネ改修等を支援する。

# 脱炭素ビジョンの推進

## ◆大野市脱炭素推進会議（仮称） 【（新）R5～】

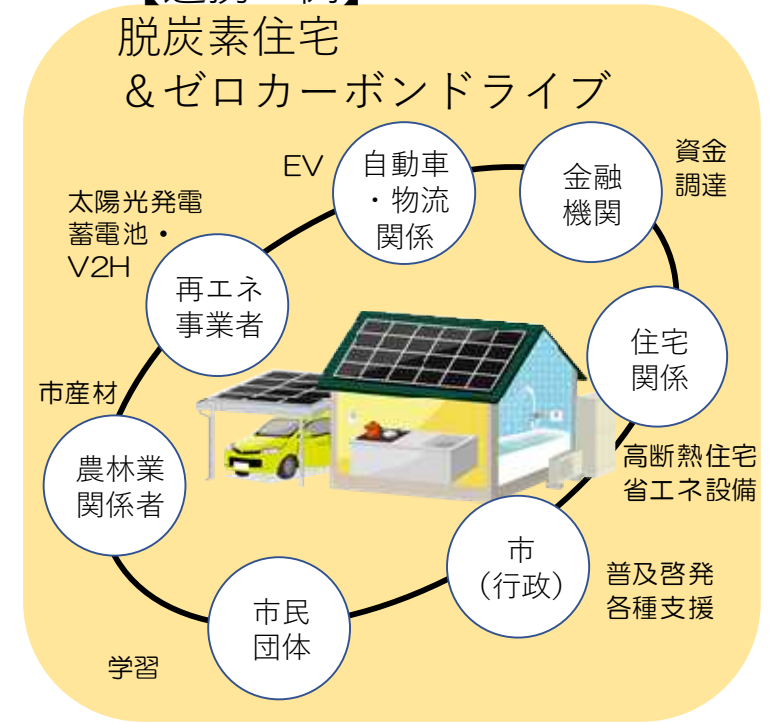
官民連携により脱炭素ビジョン全体の進捗管理と各プロジェクトの具体的な取り組み（脱炭素プロジェクト）や仕組みの検討を行うため、新たな協議体を設立する

### 【プロジェクトイメージ】



各主体が個別または連携して脱炭素プロジェクトを推進

### 【連携の例】



### 【設置目的・役割】

情報共有、具体策検討・役割分担、取組評価・発展策等検討

⇒ 目指すべきゴールを共有し、連携して実行へ移す

# 脱炭素ビジョンの推進

## ◆脱炭素ビジョンの周知 【(新) R5~】

大野市脱炭素ビジョンを市民・事業者に広く周知し、理解を深めることで、行動変容を促す。

### ① (仮) 脱炭素ビジョン実現シンポジウム

【期 日】 R5.8月下旬

【テーマ】 カーボンニュートラル達成とライフスタイル

【対 象】 市民・脱炭素推進協議会参加団体、結のEco協賛店ほか

【概 要】 プログラム (案)

①市脱炭素ビジョンの概要紹介

②講演「気候変動に対し森林が果たす役割 (仮)」  
「脱炭素住宅と健康ライフスタイル (仮)」

③パネルディスカッション

### ②各地区説明会

【期 日】 R5.10月～

【会 場】 各公民館、各地区集会場

【内 容】 市内CO2排出量などの現況、ビジョンに掲げた目標や取り組みについて説明

# 食品ロスの削減

## ◆フードドライブ（「県民せいきょう」との連携）【R3～】

実施予定 6月・12月



家庭や職場で余っている食べきれない食品を持ち寄り、必要としている福祉団体・施設などに寄付する活動

- 生活困窮者や子ども食堂への食料支援
- 食品ロス削減

**同時解決!!**

R4実績	大野市 (市役所・各公民館)	県民生協 (大野きらめき)
期間	6/7~9 12/6~8	6/10~12 12/9~11
収集数	999点	516点
収集量	767.9kg	381.5kg

# プラスチックごみの削減

## ◆「プラスチックごみ」の分別収集【(新) R5～】

「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」  
⇒令和6年4月から「プラスチックごみ」を分別収集

<広報計画>

⇒各地区説明会 令和5年10月頃～

⇒チラシ・HP作成

⇒ごみの分類と早見表を改定

分別回収する品目（案）

食器類	茶碗 コップ 皿 スプーン など
調理器具類	計量カップ ざる ボウル タッパー など
文具類	クリアファイル レターケース 下敷き 定規 など
ハンガー	※クリーニングハンガーはご利用の店舗へ
ビニール袋	買い物袋 包装袋 保管袋
衛生用品類	バケツ 洗面器 洗濯かご など
発泡スチロール	
CDケース類	CDケース DVDケース BRディスクケース